

「以文会友」

茨木高校3年生(74期生)

中学生の皆さん、こんにちは。6月中旬に予定されていた学校説明会が中止となり、皆さんに茨木高校の魅力を伝える機会がなくなってしまったため、2年と少しの間この学校で過ごした僕から、僕自身の経験と皆さんへのメッセージを綴りたいと思います。

僕は中学3年のとき、11月に行われた茨木高校の学校説明会に参加しました。自信に満ち溢れた茨高生を目の当たりにし、憧れを感じるとともに、僕もあんなふうになりたいと思い、受験することを決意しました。

実際に入学してからは、レベルの高い授業や全てが生徒主体で行われる行事、委員会など、本当に驚くことの連続でした。僕は、その期待以上の恵まれた環境の中で、あの日の憧れを憧れのまま終わらせないように、バスケットボール部に所属しながらも様々なことにチャレンジしてきました。

たとえば、行事委員として、1年の春から修学旅行を立案・計画し、準備してきました。残念ながら、コロナの影響で、当初の予定とはまったく異なる「校内での代替行事」という形での行事開催になってしまいましたが、予定変更を余儀なくされるたびに、旅行会社の方と直接やり取りしながら新たな計画を考えた経験は、自分を大きく成長させたと思います。

「学問発見講座」や「卒業生講座」では、大学教授や様々な分野で活躍されている先輩方から直接講義を受け、自分の将来について深く考えることができました。高校生のうちに、学校行事として、最先端の学問や最新の社会問題などについて学ぶ機会があるというのも、茨高でしかできない、とても貴重な体験だと思います。

茨高は忙しいと聞いたことのある人も多かもしれませんが、実際、皆さんが思うよりずっと忙しいと思います。しかし、こんな多忙な茨高だからこそ手にできたものがあります。それは「尊敬できる仲間」です。僕は彼らと出会って人生が変わりました。自分と同じ年齢で、こんなに想像力豊かな人がいるのか……. こんなに行動力のある人がいるのか……. と日々圧倒されながら、彼らと共に学べることに喜びを感じています。どれだけ忙しくても、授業が辛くても、毎日学校に行くのが楽しみで仕方ありません。「尊敬できる仲間」と「貴重な経験」。2つの宝物に巡り会えたこの茨木高校に入学してきてよかったと心の底から思います。

そして僕は今、受験生として日々勉強に励む一方で、高校生活最後にして最大の行事である体育祭に向けて、総団長として約110人をまとめながら、この上なく青春を謳歌しています。毎日が本当に楽しいです。昨年はコロナの影響で中止となり、多くの先輩が涙を流しました。今年は、そんな先輩方の思いや、一度途絶えてしまった茨高の伝統を受け継ぎ、制限がある中で、例年以上の体育祭を創りあげていこうと思います。

今、受験に不安を抱えている人や茨高に入学してもついて行く自信がないという人、絶対に大丈夫です。なぜなら、僕もそのような不安を抱く中、入学しましたが、周りの人たちに支えられ、刺激されながら、ここまで述べたように充実した日々を送ってこられましたから。

茨高は本当に素晴らしい学校です。みなさんの可能性を必ず開花させてくれます。僕からのメッセージが皆さんの高校受験への道標になれば幸いです。

2021年7月